

V101a TMT プロジェクト概況

家正則、山下卓也、高見英樹、臼田知史、柏川伸成、青木和光、児玉忠恭、鈴木竜二、橋本哲也(国立天文台)、山田亨(東北大)、秋田谷洋(広島大)

TMT プロジェクトは、カリフォルニア工科大学、カリフォルニア大学、カナダ天文学大学連合、国立天文台、中国国家天文台、インド天文学連合、米国科学財団の国際協力事業として、ハワイ島マウナケア山頂地区での建設の実現を目指している。これまでの検討により望遠鏡の仕様と基本設計は完了しており、細部の検討段階に入っている。

建設地はすばる望遠鏡から北西側に少し下がった地点を選定し、建設許可が2011年2月に得られている。

総建設費は為替変動、インフレ率変動などの要素があるが1100～1300M\$程度と見積もられているが、カリフォルニア連合が300M\$を確保済みで、残りを各国機関の参加により賄う構想である。各国の分担内容の合意締結に向け詳細の協議を進めている。

米国科学財団への提案書は2011年末に提出される予定で、NSFは支援方針について2012年春以降に決断することが期待されている。カナダ、日本、中国、インドはこれに期を一にして分担内容を合意し予算要求に協調努力する。

日本の分担内容の検討状況、全体スケジュール、完成後の運用方針の検討状況等について報告する。